

このまちの100年

「仙台」

仙台は中世・近世に仙台城の城下町として発展しました。明治期以降は東北地方の中心都市に。緑の多い街並みが特長で、古くより現在に至るまで『森の都』『杜の都』と呼ばれています。



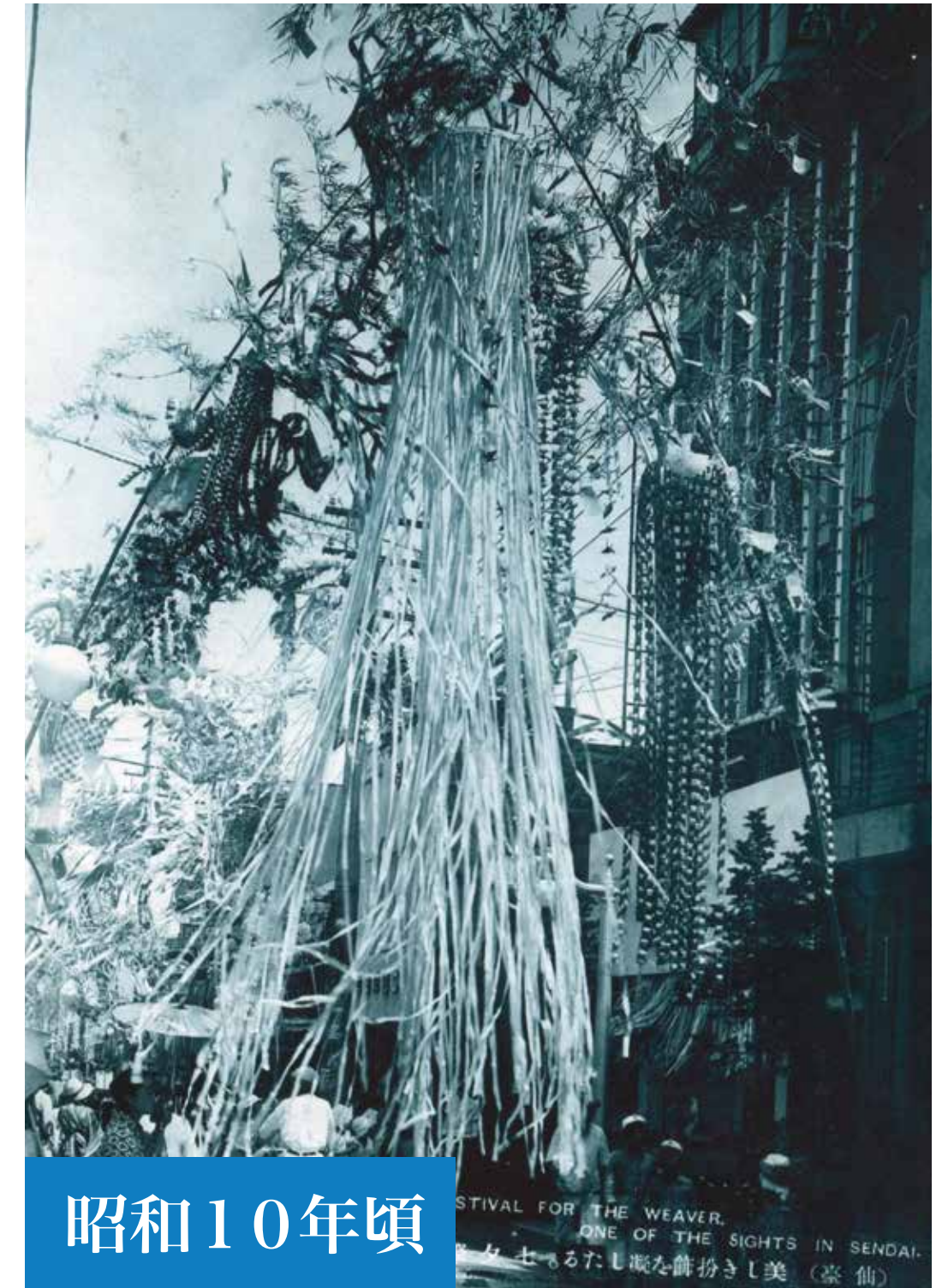
昭和10年頃

花見客でにぎわう榴岡公園。桜は仙台藩主・伊達綱村により植樹された



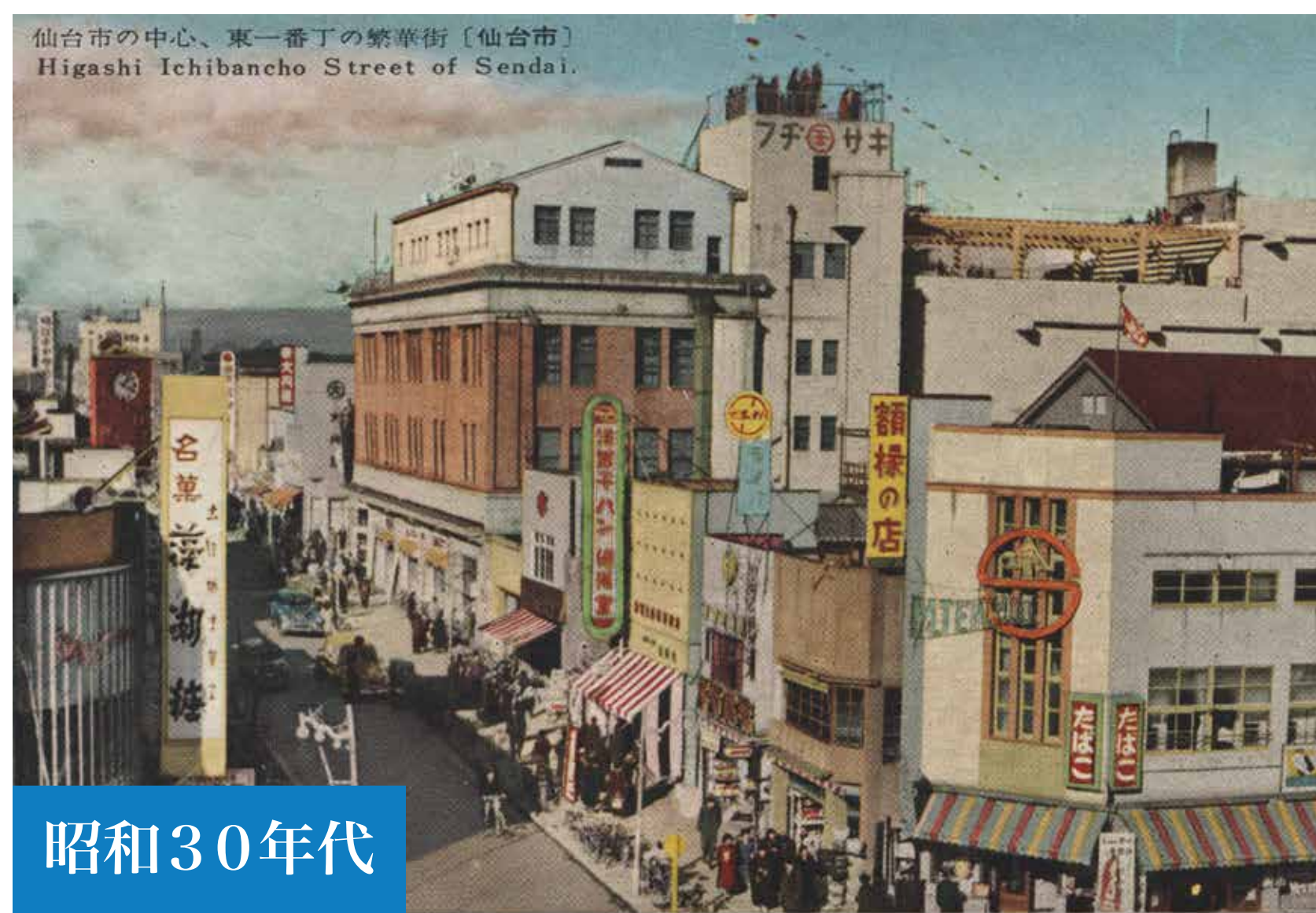
昭和13年頃

仙台の繁華街、東一番丁(現在の一番町)の様子



昭和10年頃

仙台七夕まつりの様子。戦前は昭和13年まで開催されていた



昭和30年代

江戸時代の呉服店がルーツの藤崎。大正8年に百貨店となった



昭和40年頃

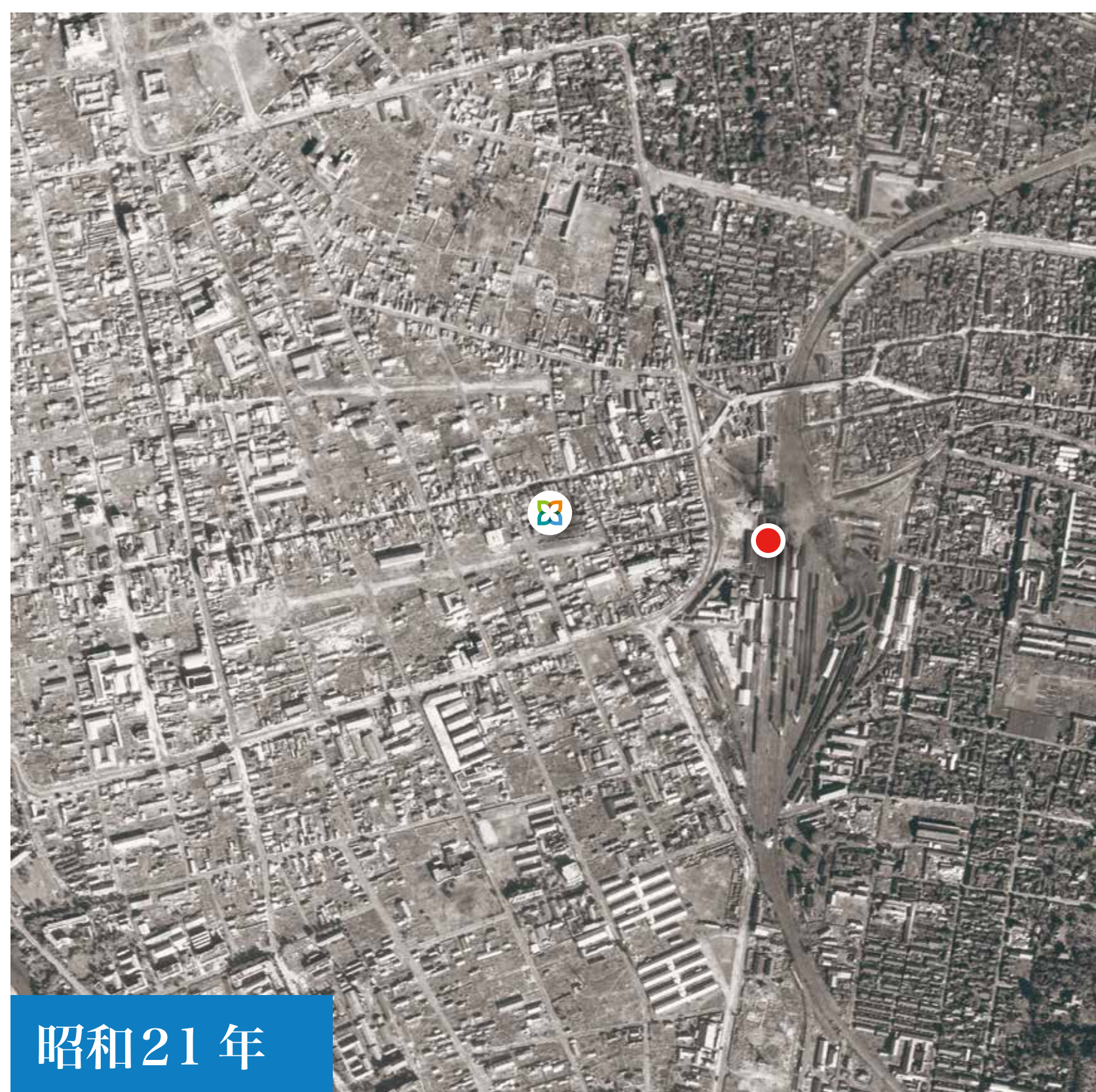
仙台市内の繁華街の様子。奥に仙台三越のビルが見える



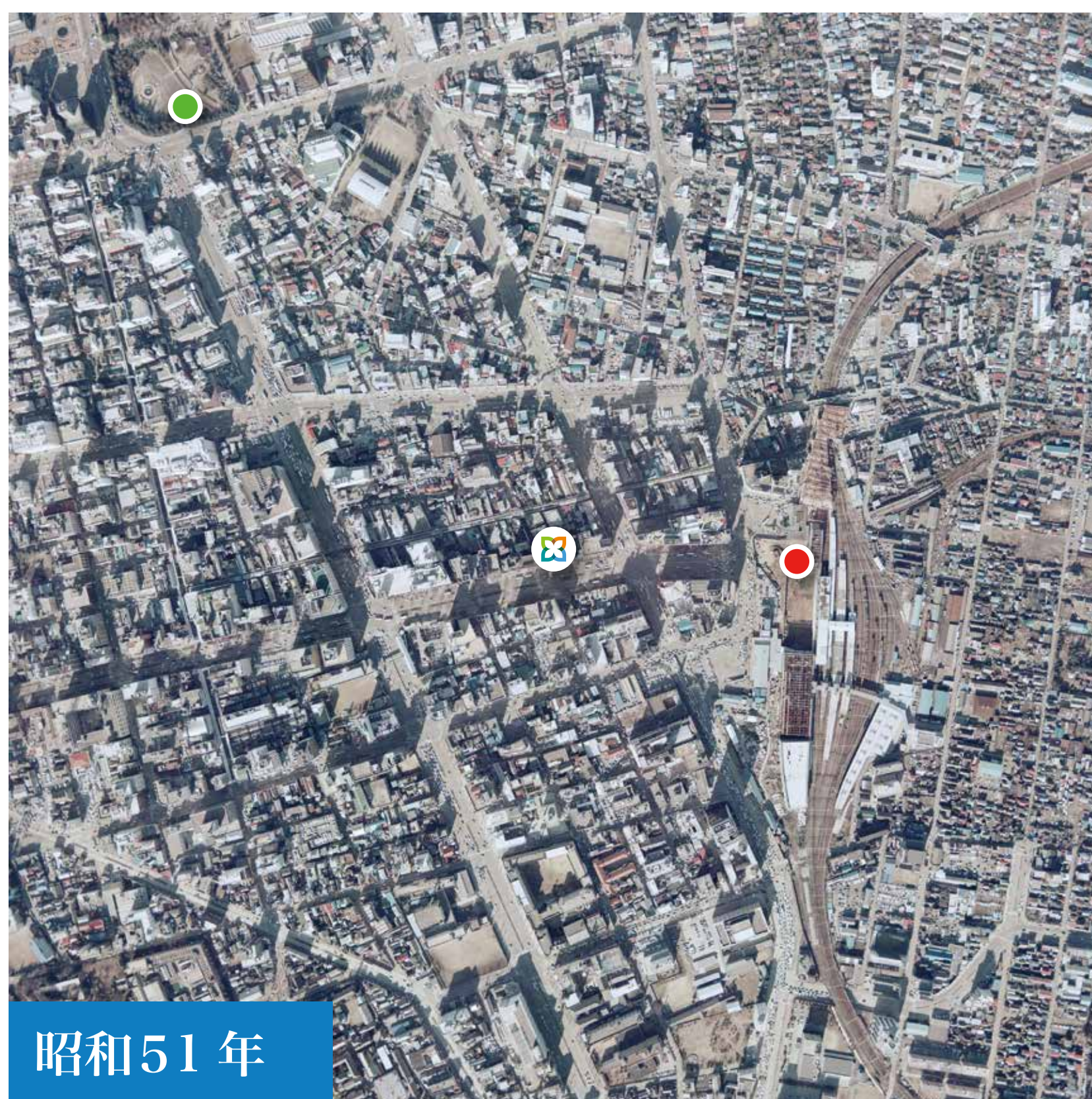
昭和30年頃

仙台駅の駅舎。昭和40年代後半まで使用された

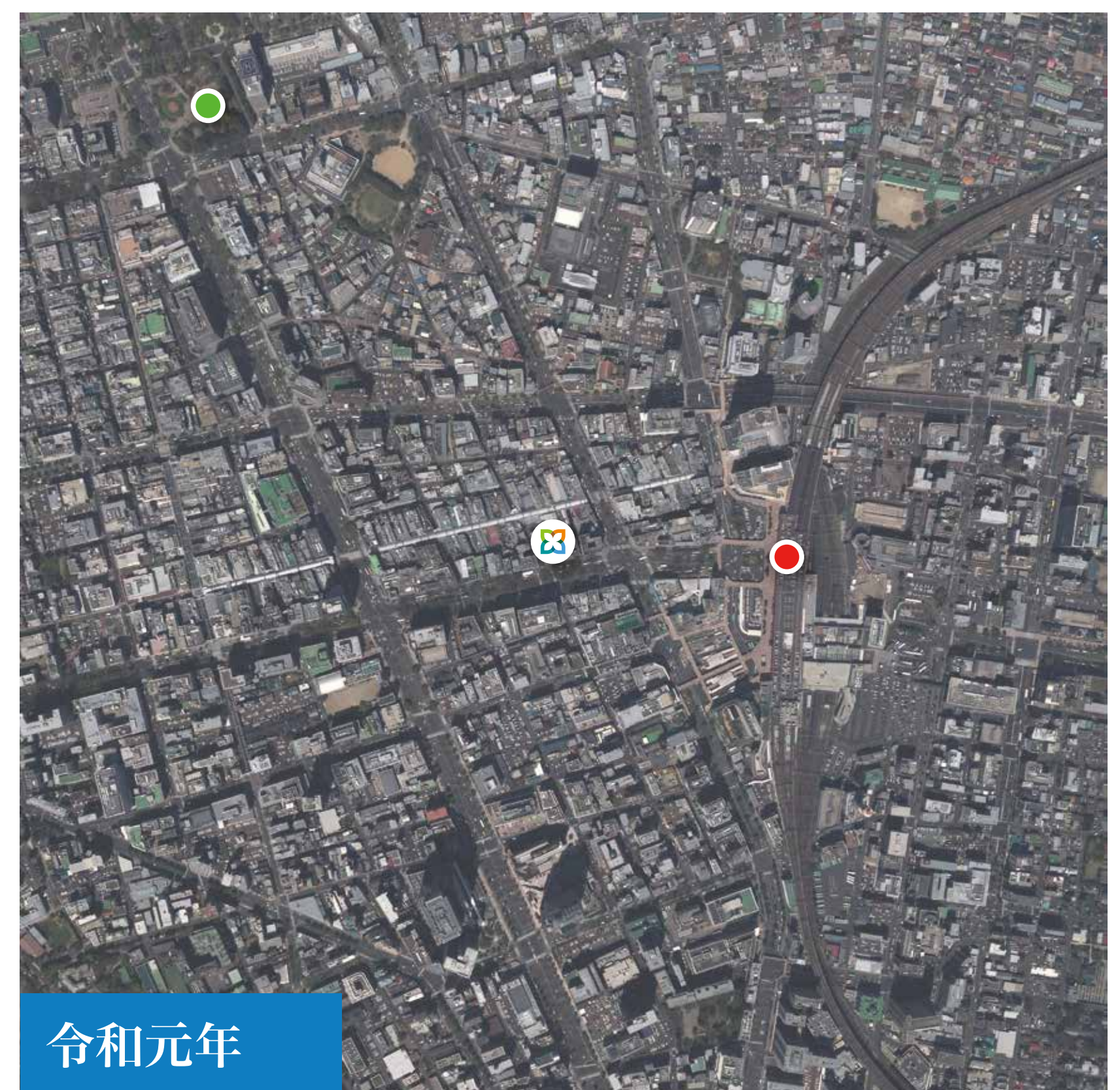
上空からみた仙台エリア



昭和21年



昭和51年



令和元年

📍：現在地
●：勾当台公園 ●：仙台駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ